


# 会議記録

会議名	第1回 矢板市政策研究会議
日時	平成 25年 3月 11日 18時 ~ 19時
場所	市役所 2階 特別会議室
参加者	市 遠藤市長、大森教育長、横塚秘書政策班長、秘書政策班手塚副主幹、 矢板市政策研究会議委員 別紙名簿のとおり
<b>1. 開 会</b>	
開会及び資料の確認	
<b>2. 委嘱状交付</b>	
市長が各委員に委嘱状を交付しました。	
<b>3. あいさつ要旨（遠藤市長）</b>	
<p>皆様こんばんは。この度は、矢板市政策研究会議委員をお引き受けいただきありがとうございます。この政策研究会議は、矢板版シンクタンクの一環で、私の選挙公約の一つで市民との約束の一つでもあります。この3期目の市政運営に際して、一番に考えたことは、市長として市民の思いや願いを少しでも実現しなければならない。そのために、できるだけ多くの皆さんの意見や声を聴き、政策に反映していきたい。それから、今矢板市が抱えている様々な課題を解決し、これからも持続的な発展を続けていける市政運営をやらねばならないと強く感じています。</p>	
<p>市民の皆さんの願いは多種多様ではありますが、安心して心豊かな生活をおくりたいということ、矢板市に住んで本当に良かったと思えるようなまちづくりをすることに尽きると思います。しかし、状況は極めて厳しく、少子高齢社会の進展による人口減少時代に突入し、都市間競争が行われている中で、住民満足度の高い自治体になるためには、地域の特性、矢板の良さを活かした魅力あるまちづくりを進めていかねばなりません。また、地方分権により自治体の自己決定権が大幅に拡大している中で、今自治体に求められているものは、政策形成力の向上であります。</p>	
<p>シャープ栃木工場の規模縮小、指定廃棄物最終処分場の問題など、市民の意識が閉塞感にみなぎっている状況を払拭し、矢板市の活気を取り戻すと同時に、市民が矢板市に誇りと自信を持つまちを実現していきたい。</p>	
<p>この会議の目的は、市政に対して、市長に様々な提言や建議をいただく組織として設置したものです。限られた時間の中で調査研究を進めるとともに、委員の皆様には様々な立場からご意見ご提言をいただき、この矢板市を少しでも素晴らしいまちにしていきたいと思っていますので、ご支援ご指導の程よろしく願いいたします。</p>	
<b>4. 矢板版シンクタンク概要説明</b>	
資料1に基づき、事務局から説明。	

<p><b>5. 内容</b></p>	
<p><b>(1) 委員の紹介</b></p>	
<p>各委員、コーディネーター及び</p>	
<p>事務局職員 自己紹介</p>	
<p><b>(2) 会長・副会長選出</b></p>	
<p>事務局より「矢板市政策研究会議設置要綱」を説明（資料2）</p>	
<p>会長 坪山和郎 氏      副会長 江面晃一 氏 に決定</p>	
<p><b>(3) シンクタンク概観 ～矢板版シンクタンクへの期待～</b></p>	
<p>資料3に基づき、アドバイザーの宇都宮大学教育学部 陣内教授が説明。</p>	
<p><b>(4) その他</b></p>	
<p><b>6. 閉 会</b></p>	